

シュヴァイツァーの生涯

西暦 年齢	おもな出来事	学問・芸術関係	状況
1875 0	ドイツのアルザス州カイザースブルクに生まれる 父牧師 母牧師の娘 3姉1弟	牧師と音楽家(パイプオルガンの)の家系	
1879 4	礼拝参加 感動		
1880 5	学校 ユダヤ人の友人 肉スープ事件	ピアノを父から習う	
1882 7	鐘の音事件		
1883 8		パイプオルガンを習い始める	
1885 10	ギムナジウム入学 厳格な叔父の家下宿	礼拝でパイプオルガン奏楽	『資本論』第2巻 『ツァラトストラ』ニ・チェ
1890 15	夢見る少年 落第の危機 新任教師の熱心な指導で成績あがる	ミュンヒからパイプオルガンを習う	ビスマルク罷免される フロイトのヒステリ-研究
1893 18	シュトラスブルク大学入学 神学と哲学専攻	ヴィドールの弟子	
1894 19	兵役服務	福音書の研究	
学問芸術期.....			
1896 21	<u>ライフワークの発見</u> 30才までは学問と芸術に生き、それからは直接人々への奉仕の道	ワーグナー「ニーベルンゲンの指輪」に感動	
1898 23	ソルボンヌ大学留学 音楽と学位論文研究 神学試験合格	マリ=ジャエルとフィリップからピアノ ミュンヒの死 『オイゲン=ミュンヒ』	ファッションダ事件
1899 24	ベルリン大学留学 哲学博士号授与 シ大神学科研究生 ニコライ教会副牧師	「カントの宗教哲学」	ハーグ平和会議
1900 25	神学博士号授与	「19世紀の科学的研究および歴史記録による聖餐問題」	
1902 27	シ大神学科講師 神学研究に没頭	「メシア性の秘密と受難の秘義」	
医学研究期.....			
1904 29	医師としてアフリカへ行く決心		
1905 30	多くの非難と嘲笑 医学部学生になる 説教と教育と研究と演奏と医学の勉強の日々	パイプオルガン演奏会出演 『パッハ』	
1906 31	聖トマス教会の牧師館に居住	『イエス伝研究史』 『オルガン製作とオルガン技術』	
1909 34	解剖学・生理学等試験にかろうじて合格		
1911 36	医師国家試験に合格		
1912 37	ヘレーネと結婚 大学講師と牧師を辞職		第一次バルカン戦争

第一活動期.....			
1913	38	医学博士号授与 ランバレネ到着 病院での活動開始	「イエス - 精神医学的考察」 第二次バルカン戦争
1914	39	戦争中自宅監禁 飢饉	第1次世界大戦
1915	40		「生命への畏敬」理念
1916	41	母事故死	
1917	42	ランバレネを去りフランス捕虜収容所生活 赤痢	ロシア革命
1918	43	捕虜交換で帰宅 手術 聖ニコライ教会副牧師 市立病院助手	世界大戦終結
1919	44	長女レーナ誕生	バルセロナオルガン演奏会
1920	45	スウェーデン講演と演奏 病院再建活動	ライマール憲法 ヒトラ - 台頭 国際連盟成立
1921	46	副牧師、病院助手を辞職	『水と原生林のあいだに』
1923	48	プラハで文化哲学講演	『文化の退廃と再建』 『文化と倫理』
第二活動期.....			
1924	49	単身アフリカへ病院再建	『生い立ちの記』
1925	50	飢饉で病院最大の危機 病院の移転 父死去	
1927	52	新病院完成	北欧旅行
1928	53	ゲーテ賞授賞 記念講演	
1930	55		『使徒パウロの神秘主義』
第三活動期.....			
1931	56	精神病舎完成	『わが生活と思想より』
1939	64	一時帰国	
1941	66	ヘレーネ夫人ランバレネ到着	第二次世界大戦
円 熟.....			
1945	70	BBC特別番組	国際連合成立
1949	74	米国ゲーテ生誕200年記念祭で講演	中華人民共和国成立
1951	76	ドイツ出版協会平和賞	パイプオルガン録音 『ペリカンの生活と意見』 サンフランシスコ平和会議
1954	79	ノーベル平和賞授賞11月	「現代における平和問題」講演 ビキニ水爆実験
1957	82	原爆中止を訴える声明 ヘレーネ夫人逝去	ソ連人工衛星成功
1965	90	9月4日老衰により逝去	ベトナム戦争